

# おかあさんぎょうかい新聞

2020年  
3月号

## 岡崎 Oka'n the Kids 版 (Vol.11)



### ★3月号のごあいさつ★

こんにちは、お母さん業界新聞「岡崎 Oka'n the Kids(おかんぎきつず)版」です。

これを書いているのは、3月8日。

この1か月で、日本中が大きく変わりました。

いつこの状態が終わるのか、先がまったく見えない中、それでも季節は確実に春に向かっていて、子どもたちも、卒園卒業、進級、進学、と節目の時期を迎えています。

一斉休校という、かつてない状況の中で、子どもたちのために大人ができること、親としての在り方、あらためて考えさせられる3月です。

これがみなさまの手元に届くころには、少しでも終息に向かっていくことを願うばかりです。



### 一斉休校になって・・・我が家の場合はこうでした

岡崎市では、3月2日から一斉休校になりました。

私は専業主婦なので、子どもの預け先とか仕事の調整とか、そういう点で困ることはなかったため、

「ああ、毎日子どもたち二人分の昼ご飯作るのか・・・」という、大したことのない悩みがわくくらいだったのですが、それでも、ずっと子どもたちとべったりな生活に不安がなかったといえウソになります。

しかし、いざふたを開けてみれば、意外と精神的にラクでした。

理由は二つあって、

①学校がないので時間に追われない。

朝もバタバタしなくていいし、宿題をやれとお小言を言う必要もないし、夜も急いで寝る必要がない。

②小2長男が2歳次男の遊び相手やお世話をしてくれる。

私ひとりで次男の面倒を見なくてもいいので、精神的な緊張感が少し減る。

もちろん兄弟げんかもするし、常にうるさいので、疲れることは疲れます。イライラすることもしょっちゅうです。

でも、マイペース長男は、大好きな読書を思う存分楽しみ、気が向くと学校からの課題をやり、朝夕は次男と一緒にEテレを観たり、それを見ている次男は、お兄ちゃんの真似をして本を読んだり、字を書いたり。子どもたちはなんだか楽しそう。

長男に「どこにも行けなくて退屈じゃない？」と聞いたら、

「普段からお母さんが運転できなくてどこにも行けないから、慣れてるよ」だそうです・・・(苦笑)

でもやはり、お母さんは、たまにはひとりの時間が欲しいよー！



### みそまるマスターになりました！

先日、名古屋で開催された「みそまるマスター養成講座&認定試験」を受講し、無事合格、晴れて【みそまるマスター】になりました☆  
【みそまるマスター】とは、味噌を愛し、かわいい味噌汁の素「みそまる」を通じて味噌を広める伝道師です。

味噌のまち岡崎で、味噌の良さをさらに広めるべく活動していきますので、応援よろしくお願いします！

みそまるマスターの動画はこちら→



### ★あらためて自己紹介★

天野智子 (あまのともこ) 名古屋生まれ名古屋育ち。名古屋駅新幹線口から徒歩10分のところで生まれ育ちました。

小中学生の時は、今は無き『生活創庫』で文房具やお菓子を買う生活でした。

2005年に結婚、夫の仕事の都合で神奈川県川崎市と名古屋市守山区に住み、2013年に夫の地元である岡崎市に引っ越してきました。

夫の実家で敷地内同居しています。2012年2月生まれの長男と2017年12月生まれの次男がいます。

ずっとペーパードライバーでしたが、今年に入ってから勇気を振り絞って運転練習中です！

【お母さん業界新聞配布場所】(岡崎市) 総合子育て支援センター・図書館交流プラザりぶら・げんき館ブレイルーム・なごみん・やはぎかん・よりなん・むらさきかん Hug-cafe (旧エヴェリーナマンマ)・岡崎レディース整体院・ふとんの野畑屋・Cafe くらねこ・シビコ・ちいさいおうち・マルコポーロ・小児科延寿堂杉浦医院 wagamama house・愛三堂鍼灸院 plus・ビューティーサポート yell・大地の学校ロータス・せきやクリニック

(名古屋市) ONLY FREE PAPER 名古屋店・身体整え教室 (mamacafe 内)・おやこサロン Smile Link / (豊明市) かなや助産所 / (岐阜県大垣市) メナードフェイシャルサロン Lovamour ※配布にご協力いただけるお店、お教室、イベントなど随時募集中です！お問い合わせは okan.the.kids@gmail.com までお気軽にどうぞ！

## <今回の問題でいろいろ考えたこと>

(この文章は2020年3月8日に書いています)

新型コロナウイルスの件で、日本中が落ち着かない日々が続いています。おもて面にも書きましたが、私は専業主婦で、外で働いていないため、子どもが斉休校になった時も、特に混乱することなく、今に至っています。しかし、共働き家庭のみなさんは、子どもの預け先や仕事の調整など、とても大変な思いをされているし、そもそも、子どもは休みだけ大人は普通に通勤して会社で仕事している、それってどうなの?とったり、とにかく、毎日、なんか納得いかないモヤモヤした気分を抱えて生活しています。

ネット上では、オンライン学習のツールがどんどん展開され、学校に行かなくても勉強ができる体制が急速に広がっています。講義形式のものもあれば、双方向でコミュニケーションを取りながら学べるものもあり、また、国語や算数などの勉強だけでなく、総合学習的なものもあつたりして、あらためて、技術のすごさにびっくりしています。

大人の世界でも、テレワークなどの在宅ワークが徐々に取り入れられ、また、PTAなどの集まりも、ミーティングアプリの「zoom」で行うところも出てきているとか。

人と人がリアルに会わなくても世の中が回る。

確かにそれらのツールはとても便利です。病気や障がいなどがあってその場に行けなかったり、遠方で行けなかったり、または子育てや介護で自由に家を出られなかったり、さまざまな事情を抱える人たちにも、同様の機会が得られるというのは、とても素晴らしいことです。

ただ、これらのツールを使うことを前提で世の中が進んでしまうのには、少し抵抗と違和感を覚えます。

(元システムエンジニアで、大学からずっと情報化社会の勉強をしてきた私が言うのもなんですが)

どれだけネットワークが進化しても、結局は画面越しのコミュニケーション。リアルに会って、他人との関係を五感で感じる良さには到底及びません。オンラインネットワークというのは、嫌になったらスイッチを切ってしまう途切れます。

しかし、リアルの間人関係というのはそうはいきません。だからこそ、嫌なことも悩むこともたくさんあるのですが、その中で人としての内面が成長することも大きな事実です。握手したり、ハグしたり、生身の人間の温かさを感じられるのも、直接会うからこそできること。

SNS やゲームを含め、今後さらに広がっていくであろうオンラインネットワークとの付き合い方、メリットとデメリット、子どもたちと一緒に大人もあらためて考えていくいい機会なのかもしれません。

## ☆今月の息子たち☆

### <小2長男、8歳1か月>

一斉休校になり、常に家で過ごす毎日。

「退屈だ」とかぶつぶつ言いだすのかな、と思っていましたが、意外にもほとんど言わず。

普段の学校生活で、時間に縛られやりたくないことをやらされていた生活から一転、自由な生活になり、なんだか生き生きしています(笑)

とにかく本が好きな長男のために、夫が、昔読んで実家に保管してあった「ズッコケ三人組」のハードカバーを出してきたところ、とても気に入ってどんどん読み進めています。

そして、意外にも早起き。

いつもと同じ時間に自ら起き、着替え、こたつにもぐってテレビを観ています。

何も言わなくても突然勉強を始めたりするし、

やはり、親があれこれ言わない方が子どもは自立するのも・・・(苦笑)



### <次男、2歳2か月>

二語文がどんどん増えてきました!

普段のコミュニケーションはもうほとんど単語か二語文です。言葉の発達が早い!

長男は逆にものすごく遅かったため、次男の早さに夫婦そろってびっくりする毎日です。

12月に次男の誕生日、2月に長男の誕生日があり、イチゴが乗ったケーキを食べたため、

イチゴのことを「ばーばーとうーゆー(ハッピーバースデートゥーユー)」と言うようになってしまいました(笑)

それと、夫の影響で「ドリフ大爆笑」を観るようになり、

「ばばんばばんばばん、ピバのんのん」と言うようになりました・・・令和なのに昭和のお笑い・・・

ある日、お昼寝中に寝ぼけて「ばばんばばんばばん」と言ってまた寝たときは、心の中で大爆笑してしまいました(笑)

## お母さん記者募集!!!

毎日の育児のこと、子どものこと、自分のこと、

日々の生活の中で思っていること、

お母さん大学で発信してみませんか?

全国のお母さん記者ともつながることができますよ☆

「お母さんだから書けること」「お母さんだから見えるもの」

ぜひ仲間になって、今いる世界から一歩踏み出しましょう!

興味のある方は、

お母さん業界新聞社 045-444-4030 info@30ans.com

またはお母さん大学岡崎 okan.the.kids@gmail.com まで!



## ★お母さん大学岡崎 LINE 公式アカウント & Facebook ページ★

お母さん大学岡崎 LINE 公式アカウントはこちら→



登録&いいね!お待ちしております☆



←お母さん大学岡崎 Facebook ページはこちら

Instagram アカウントもできました。

「お母さん大学岡崎」で検索してね☆

お母さん業界新聞 岡崎 Oka'n the Kids 版 Vol.11 (2020年3月)

発行/お母さん大学岡崎

編集長/天野智子(名古屋出身、小2と2歳の息子がいます)

090-7695-9129 okan.the.kids@gmail.com

Facebook ページ & Instagram 「お母さん大学岡崎」も見てね!

お母さん業界新聞 全国版

発行/お母さん大学 発行人/藤本裕子(編集長)

制作/お母さん業界新聞社

〒221-0055 神奈川県横浜市神奈川区大野町1-8-406

045-444-4030 info@30ans.com

http://www.okaasan.net/